



セキュリティライト 常夜灯 (SSH-1型 SSH-2型) 灯具

取扱説明書

保管用

品 名	灯具品番	適合ポール
セキュリティライト 常夜灯 (SSH-1型) 灯具	V E T 0 1	V F K 0 1
セキュリティライト 常夜灯 (SSH-2型) 灯具	V E W 0 2	V F S 0 2

お客様へ

ご購入ありがとうございます。

■ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管し必要なときにお読みください。

■施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店・電器店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

器具を改造したり、
部品交換をしない



分解禁止

火災・感電・落下
によるけがのおそれ
があります。

ランプは器具表示
のものを使用する



必ず守る

間違った種類、ワット
数のランプを使用する
と、火災のおそれ
があります。

異常を感じた場合、
速やかに電源を切
る



必ず守る

異常状態が収まったこ
とを確認し、販売店ま
たは別紙ご相談窓口
にご相談ください。

注意

点灯中や消灯直後
はランプやその周
辺にさわらない



接触禁止

やけどの原因と
なることがあります。

ランプ交換・お手入
れの際は、壁スイッ
チをオフにする



必ず守る

通電状態で行うと感電
の原因となることが
あります。

使用上のご注意

- ・器具の近くでは赤外線式リモコンが動作しないことがごくまれにあります。
- ・電波の弱い場所（山間部・鉄筋建物など）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- ・パルクボールは点灯直後約20分間、明るさや光色が若干変化しますが、異常ではありません。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行なってください。

- ・ランプは必ず器具に表示されたナショナルランプをお求めください。
- ・白熱ランプは使用できません。

1 ツマミネジをゆるめ下面カバーを開く

3 ツマミネジを締め下面カバーを閉じる

2 ランプを交換する

お手入れについて

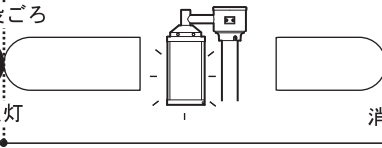
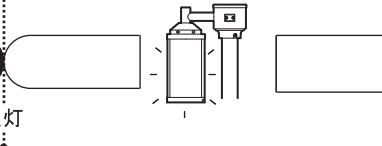
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行なってください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃、点検してください。
汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色・破損の原因となります。

この紙は再生紙を使用しています。

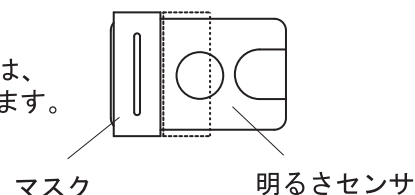
この器具の使いかた

- 周囲が暗くなると自動的に点灯し、タイマーでセットしたお好みの時間（2～10時間）たてば自動的に消灯します。
- タイマーのセットは、電子おやすみスイッチのツマミを回して行います。

使い方	タイマーの設定	夕方	夜	朝
タイマー時間点灯させる場合 （2～10時間）	 数字を合わせる	日没ごろ 点灯	 消灯	
一晩中点灯させる場合	 ”切”に合わせる	点灯	 一晩中点灯	消灯

注）タイマー時間の誤差は±10%程度です。

- 夜間停電しますとセット時間より長く点灯しますが、翌日からは再び正常に動作します。
（1秒以下の停電は問題ありません。）
- 夜間タイマーで消灯後、再び点灯する場合
タイマーを”切”にし、再びタイマーをセットする。
または、電源をOFFにし、再びONにする。
- 夏と冬、または晴れた日と曇天では同じ時刻でも周囲の明るさが異なりますので、点灯時刻が変わります。
- 器具が点滅を繰り返す場合
周囲の天井、壁面の仕上げなどにより反射光が強く、器具が点滅を繰り返す場合は、明るさセンサのマスクを中央より少しずつスライドさせ、反射光の量を調整します。
注）マスクを中央までスライドさせると明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなる場合があります。



仕様

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50／60Hz共用	13.2W	D13U形パルックボールYOU蛍光灯

施工説明

安全上のご注意

警告

■ 器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う

取り付けに不備があると、
火災・感電・落下とよるけがのおそれがあります。

■ 接地工事は電器設備技術基準に従い 確実にを行う

取り付けに不備があると、
火災・感電・落下とよるけがのおそれがあります。

■ 浴室などの湿気の多い場所で使用しない

絶縁不良による火災・感電のおそれがあります。
この器具は防雨型です。

■ 土壌のしっかりしたところに設置する

設置に不備があると、ポール倒れのおそれがあります。

■ 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

注意

■ 温度の高くなるものの近くに取り付けない

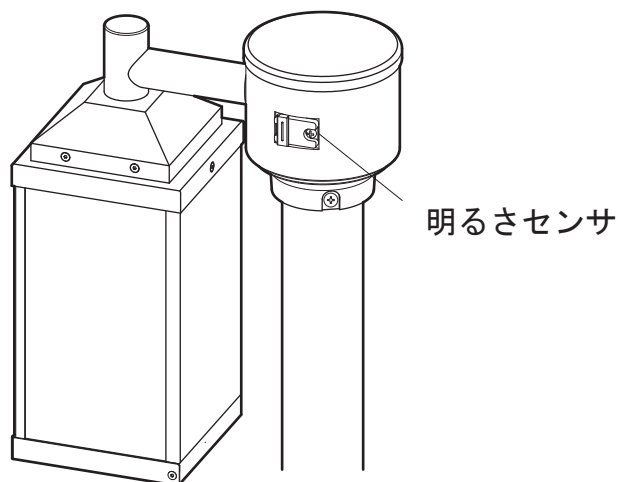
ガス機器やその排気筒の近くに取り付けないでください。
火災の原因となることがあります。

■ 調光器と組み合わせて使用しない

調光機能が付いた壁スイッチなどの調光器と
組み合わせて使用しないでください。
火災の原因となることがあります。
・調光器の取り外しが必要です。

取付場所について

- 次のような場所には取り付けないでください。（電子おやすみスイッチ誤動作の原因となります。）
 - ・ 昼間でも暗い場所・・・明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
 - ・ 夜間でも明るい場所・・・点滅したり、点灯しないことがあります。
 - ・ 車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサに直接あたる場所・・・点滅することがあります。
- 明るさセンサに自然光が入りやすい向きに器具を取り付けてください。
- 明るさセンサ側に障害物がないように取り付けてください。
（障害物があると点滅を繰り返すことがあります。）

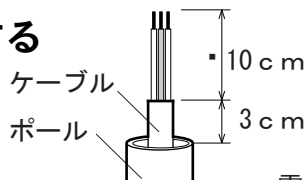


1 ポールを建てる

- ポールの施工説明書は、別途ポールに添付しております。必ずご参照ください。
- 電源ケーブルは導体がより線（2mm²）のものを
ご使用ください。

2 口出線に 電源ケーブルを接続する

- 電源ケーブルのシース部を
電源線押さえで
しっかり固定してください。

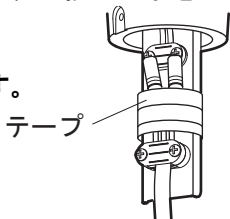


電源線押さえの使い方

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ◎丸型ケーブルの場合
外径（φ 9. 6mm
～φ 13mm） | ◎平型ケーブルの場合
外径（6. 2mm x 9. 4mm
～7mm x 15mm |
|---------------------------------------|---|

※（出荷時は丸型ケーブル止めの状態になっています。）

- ケーブルの押さえ量は
ケーブル外径の 1 / 4 程度としてください。
押さえ込みすぎると絶縁破壊の原因となります。
- 口出線との接続はスリーブなどにより確実に行い、
防水テーピングを施してください。
（内線規定（JEAC8001-2000）1335-7~9に準ずる）
 - 接地端子ネジからD種（第三種）接地工事を
行なってください。
接続が不完全な場合、
感電・火災の原因となります。
 - 口出線をテープなどで
整線してください。



3 本体をポールに差し込み 本体固定ネジで固定する

線のかみ込みにご注意ください。
感電や漏電の原因となります。

4 ツマミネジをゆるめて 下面カバーを開く

5 ランプを取り付ける

6 ツマミネジを締め 下面カバーを閉じる

